

精神科領域専門医研修プログラム

■ 専門研修プログラム名： 宮崎大学医学部附属病院精神科領域専門研修プログラム

■ プログラム担当者氏名： 平野 羊嗣

住 所： 〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原 5200

電話番号： 0985-85-2969

F A X： 0985-85-5475

E - m a i l： yoji_hirano@med.miyazaki-u.ac.jp

■ 専攻医の募集人数：（ 10 ） 人

■ 応募方法：

履歴書、医師免許証（コピー）、臨床研修修了登録証（コピー）あるいは修了見込証明書、健康診断書を下記宛先に、郵送にて提出すること。封筒に「専攻医応募書類在中」と記載する。

宛先：〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原 5200

宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野

TEL：0985-85-2969

FAX：0985-85-5475

担当者： 船橋 英樹 （医局長）

■ 採用判定方法：

科長・医局長が提出書類記載内容と面接結果に基づき厳正な審査を行い、採用の適否を判断する。

I 専門研修の理念と使命

1. 専門研修プログラムの理念（全プログラム共通項目）

精神科領域専門医制度は、精神医学および精神科医療の進歩に応じて、精神科医の態度・技能・知識を高め、すぐれた精神科専門医を育成し、生涯にわたる相互研鑽を図ることにより精神科医療、精神保健の向上と社会福祉に貢献し、もって国民の信頼にこたえることを理念とする。

2. 使命（全プログラム共通項目）

患者の人権を尊重し、精神・身体・社会・倫理の各面を総合的に考慮して診断・治

療する態度を涵養し、近接領域の診療科や医療スタッフと協力して、国民に良質で安全で安心できる精神医療を提供することを使命とする。

3. 専門研修プログラムの特徴

宮崎大学医学部は宮崎県清武町に 1974 年に設立された宮崎医科大学を前身とする。精神医学教室（臨床神経科学講座精神医学分野）は 1977 年に開講した比較的歴史の浅い教室だが、開講以来自由闊達な気風を大切にし、臨床、研究、教育に取り組んでいる。

基幹施設となる宮崎大学医学部の精神科は、36 床のベッドを有し、閉鎖病棟、隔離室、観察室を有しており、救急部と連携しての精神科救急、身体合併症、難治性精神疾患、器質症状性精神障害、緩和ケアなどに対応している。専攻医は入院患者の主治医となり、教員の指導を受けながら、看護、心理、リハビリテーションの各領域とチームを組み、各種精神疾患に対し身体的検査・心理検査を行い、薬物療法、精神療法、修正型電気けいれん療法などの治療を柔軟に組み合わせた治療を行っている。研修の過程では、ほとんどの精神疾患の診断と治療について、基礎的な知識を身につけることが可能である。

また、宮崎県立宮崎病院精神医療センターを連携施設としており、精神科救急やコンサルテーション・リエゾン精神医学、児童思春期精神医学、司法精神医学、緩和ケアを学ぶことができる。さらに、児童思春期の専門医療機関として宮崎東病院児童精神科、認知症疾患医療センター（大悟病院・協和病院・野崎病院・吉田病院・県南病院）、単科精神科病院（井上病院・高宮病院・宮崎若久病院・内村病院・県南病院・鯨島病院・都城新生病院・田中病院・谷口病院・永田病院・吉田病院）、九州大学病院とも連携している。専攻医はこれらの施設をローテートしながら研鑽を積み、臨床精神科医としての実力を向上させつつ、専門医を取得することが可能である。毎週月曜日に定期的に症例検討会を開催しており、主に入院患者について、治療や問題点などを検討し、診療に反映させている。

県内の関連病院に複数の医師が外向しており、大学で毎週金曜日に定期的に行われる研究発表・抄読会（Clinical & Research Seminar）では、外向中の医師を含む在籍医局員が集まり、症例報告や各自の研究報告を行い、臨床、研究、教育に励んでいる。ここではスペシャルゲストとして国内外の最先端の研究者からの講義を受けることが可能である。また、精神科専門医を目指して臨床経験を積みながらも、本人の希望を勘案し、大学院に進学し博士号の取得も可能である。

II. 専門研修施設群と研修プログラム

1. プログラム全体の指導医数・症例数

- プログラム全体の指導医数： 67 人
- 昨年一年間のプログラム施設全体の症例数

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	4253	2003
F1	813	499
F2	4047	2299
F3	4686	1056
F4 F50	3521	473
F4 F7 F8 F9 F50	3197	390
F6	155	68
その他	778	255

2. 連携施設名と各施設の特徴

A 研修基幹施設

- ・施設名：宮崎大学医学部附属病院精神科
- ・施設形態：公的総合病院
- ・院長名：賀本 敏行
- ・プログラム統括責任者氏名：平野 羊嗣
- ・指導責任者氏名：石田 康
- ・指導医人数：（ 4 ）人
- ・精神科病床数：（ 36 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	48	32
F1	5	6
F2	189	53
F3	234	51

F4 F50	182	39
F4 F7 F8 F9 F50	21	5
F6	14	9
その他	13	21

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は 632 床を有する大規模な病院であり、精神科も 36 床の病棟を有している。高度専門医療機関として、主に難治性の症例を中心に統合失調症、気分障害、神経症性障害、認知症などの治療にあたっている。また精神科救急、思春期症例、身体合併症治療、コンサルテーション・リエゾンなど精神科臨床を幅広く経験できることも特徴である。修正型電気けいれん療法やクロザピンの使用も可能であり、難治性症例にあらゆる角度からアプローチしている。教員による細やかな指導を通じて、精神科医としての論理的考察の基礎と精神保健福祉法の理解を深め、他科・多職種との協力体制を経験するのにふさわしい施設であると考えている。

B 研修連携施設

① 施設名：宮崎県立宮崎病院 精神医療センター

- ・施設形態：公的総合病院
- ・院長名：嶋本 富博
- ・指導責任者氏名：河野 次郎
- ・指導医人数：（ 3 ）人
- ・精神科病床数：（ 42 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	83	42
F1	17	22
F2	171	67
F3	131	57

F4 F50	159	28
F4 F7 F8 F9 F50	269	53
F6	11	4
その他	0	0

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当該施設は 653 床を有する総合病院であり、42 床の精神科病棟では精神科救急・身体合併症入院料算定を取得している。

精神科救急や合併症を有する精神疾患を中心に、司法精神医学、リエゾン、緩和ケア領域、児童思春期などの症例を含む多彩な精神疾患の入院・外来治療の実践経験を積むことが可能である。

② 施設名：宮崎東病院 児童精神科

・施設形態：公的総合病院

・院長名：伊井 敏彦

・指導責任者氏名：橋口 浩志

・指導医人数：（ 1 ）人

・精神科病床数：（ 30 ）床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	0	0
F1	0	0
F2	2	7
F3	11	4
F4 F50	61	33
F4 F7 F8 F9 F50	225	10
F6	0	1

その他	0	0
-----	---	---

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当該施設は300床を有する総合病院であり、2017年4月には30床の児童精神科病棟を開設した。不登校や情緒行動障害など児童思春期の精神科診断および治療を行なっている。広汎性発達障害・注意欠陥／多動性障害などの発達障害、強迫性障害・不安性障害・解離／転換性障害などの神経症性障害、統合失調症、気分障害、睡眠障害、チック障害などを治療対象としている。近隣に特別支援学校もあり、児童思春期疾患を中心に多彩な疾患、症例を経験することが可能である。

③ 施設名：井上病院

・施設形態：民間単科精神科病院

・院長名：井上 雅文

・指導責任者氏名：井上 雅文

・指導医人数：（ 3 ）人

・精神科病床数：（ 186 ）床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	79	60
F1	25	39
F2	41	86
F3	92	62
F4 F50	113	33
F4 F7 F8 F9 F50	152	51
F6	3	2
その他	0	7

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当該施設は186床を有する単科の精神科病院である。精神科急性期治療病棟46床、認知症治療病棟40床、精神療養病棟100床を有し、急性期から慢性期、認

知症まで精神科全般の幅広い入院及び外来治療を行っている。また、アルコールリハビリテーションプログラムを多職種連携により実施しており、年間約 30 ケースの受入実績もある。その他、多数のコメディカルスタッフを各部署に配置し、積極的に地域移行及び地域定着にも取り組み、幅広く実践経験を積むことができる病院である。

④ 施設名：協和病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名： 二宮 嘉正
- ・指導責任者氏名： 二宮 嘉正
- ・指導医人数：（ 6 ）人
- ・精神科病床数：（ 307 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	849	240
F1	19	15
F2	237	179
F3	149	33
F4 F50	87	4
F4 F7 F8 F9 F50	126	8
F6	3	1
その他		

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当該施設は精神科単科病院（307 床）、介護老人保健施設（76 床）、認知症疾患医療センター、地域包括支援センター、宿泊型自立訓練施設、地域活動支援センター等を有し、認知症を中心とした地域密着型の医療だけでなく介護も提供している。医師とコメディカルが連携し、認知症を中心とした地域密着の医療・介護やアウトリーチの研修が行える。また、宮崎県より地元医師会を經由してうつ病自殺対策事業の委託を受けており、うつ病に関しても早期発見・治療はもちろん

のこと、発症予防に關しての活動を行っている。

⑤ 施設名：高宮病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：高宮 眞樹
- ・指導責任者氏名：児玉 英之
- ・指導医人数：（ 5 ）人
- ・精神科病床数：（ 231 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	55	30
F1	32	19
F2	45	113
F3	196	105
F4 F50	254	55
F4 F7 F8 F9 F50	19	15
F6	8	4
・ その他	0	0

施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当該施設は常勤の精神科医師 6 名（精神保健指定医 6 名）と内科医 1 名、非常勤の精神科医師 3 名（精神保健指定医 3 名）を擁し、精神科急性期治療病棟では 16：1 の医師配置加算の届出をしており、統合失調症、気分障害、認知症、パニック障害、適応障害、物質依存等 様々な疾患に、質の高い医療を提供している。精神科急性期治療から回復期、デイ・ケア、訪問看護までの治療の流れに沿った幅広い知識を習得でき、精神科医としての知識と技能の向上と専門医取得に向けた経験を積むことができる。

⑥ 施設名：大悟病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院

- ・院長名：林 要人
- ・指導責任者氏名：三山 吉夫
- ・指導医人数：（ 2 ）人
- ・精神科病床数：（ 311 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	641	310
F1	259	180
F2	24	15
F3	64	7
F4 F50	4	3
F4 F7 F8 F9 F50	11	2
F6	4	18
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当該施設は311床を有する病院であり、認知症疾患医療センターの指定を受けている。また、アルコール依存症専門病棟も有している。特に、243床の認知症治療病棟では身体合併症にも対応し、認知症に特化した専門性の高い治療経験を積むことが可能である。

⑦ 施設名：野崎病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：野崎 正太郎
- ・指導責任者氏名：川添 哲志
- ・指導医人数：（ 5 ）人
- ・精神科病床数：（ 400 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	431	145
F1	16	12
F2	55	27
F3	160	53
F4 F50	80	12
F4 F7 F8 F9 F50	99	15
F6	6	1
その他	0	0

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当該施設は精神 400 床、療養 60 床の精神科病院である。認知症疾患医療センターの指定を県より受けており、認知症の鑑別診断や中核症状、周辺症状（BPSD）の治療などを数多く経験することができる他、統合失調症、気分障害など様々な症例を経験できる。入院や外来治療の他、デイ・ケア、訪問看護等による地域生活支援にも力を入れている。内科、放射線科、リハビリテーション科、歯科などの他科医師や理学療法士・言語聴覚士も在籍しており、身体合併症管理、画像診断、摂食機能療法など幅広く経験することができる。

⑧ 施設名：宮崎若久病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：牧田 昌平
- ・指導責任者氏名：木村 佳代
- ・指導医人数：（ 2 ）人
- ・精神科病床数：（ 192 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	51	43

F1	54	10
F2	105	98
F3	80	39
F4 F50	63	19
F4 F7 F8 F9 F50	20	11
F6	2	0
その他	0	0

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当該施設は 192 床の単科精神科病院であり、アルコール依存症の入院による ARP（アルコール依存症・リハビリテーション・プログラム）を習得することができる。また、医療観察法の指定通院医療機関でもあり、保護観察所や保健所など外部の専門機関と連携して、退院後の医療観察法の対象者を支える医療を学べる。さらに精神科のない病院や施設と連携し、入院患者や入所者の種々の精神症状に、積極的に往診して治療にあたっている。NTT 等の企業における精神科産業医としての役割も学ぶことができる。

⑨ 施設名： 内村病院

・施設形態： 民間単科精神科病院

・院長名： 内村 大介

・指導責任者氏名： 内村 大介

・指導医人数：（ 2 ）人

・精神科病床数：（ 261 ）床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	301	83
F1	24	20
F2	225	155
F3	409	41

F4 F50	240	15
F4 F7 F8 F9 F50	12	29
F6	9	1
その他		

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当該施設は261床を有する単科の精神科病院である。精神科急性期治療病棟41床、精神一般病棟40床、精神療養病棟180床を有し、急性期から慢性期に至る精神科全般に渡る入院および外来治療を行っている。広範囲な医療圏における数少ない精神科病院として、統合失調症、気分障害、認知症をはじめとする様々な精神疾患に対する質の高い医療を提供するとともに、デイケアや訪問看護等も積極的に行い地域密着型の医療を行っている。

⑩ 施設名： けんなん病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：藤元 秀一郎
- ・指導責任者氏名：藤元 ますみ
- ・指導医人数：（3）人
- ・精神科病床数：（364）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	339	283
F1	32	22
F2	129	140
F3	212	40
F4 F50	201	20
F4 F7 F8 F9 F50	15	10

F6	30	5
その他	0	0

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当該施設は精神科病床 364 床、療養病床（医療保険・介護保険対応）70 床を有する精神病院である。精神科グループホーム、地域生活支援センター、居宅介護支援事業所、有料老人ホームを有し、医療、介護、福祉のトータルケアを提供している。また、医療観察法の指定通院医療機関でもある。統合失調症、気分障害、器質性精神障害、認知症、神経症性障害、発達障害、身体合併症をはじめとして、幅広い症例の研修が可能であり、入院治療はもちろんのこと精神科デイ・ケア、重度認知症デイ・ケア、精神科訪問看護など地域生活支援にも力を注いでいる。全人的治療の理解を深めながら専門医取得に向けた研鑽をはかることができる病院である。

⑪ 施設名：鯨島病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：鯨島 哲郎
- ・指導責任者氏名：鯨島 哲郎
- ・指導医人数：（ 2 ）人
- ・精神科病床数：（ 240 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	144	93
F1	31	33
F2	118	148
F3	226	42
F4 F50	207	24
F4 F7 F8 F9 F50	68	13

F6	1	2
その他	0	23

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当該施設は精神科病棟 240 床を有する精神科病院であり、統合失調症、物質依存症、気分障害、認知症、2 名の常勤内科医との協力体制による身体合併症治療等々精神科全般の幅広い疾患に対応した質の高い入院及び外来治療を行っている。精神科デイ・ケアや訪問看護、患者の地域移行・定着のための関係機関との連携にも積極的に取り組んでおり、精神科急性期治療から回復期、退院後のケアまで幅広い知識の修得と実践経験ができる病院である。

⑫ 施設名：医療法人一誠会 都城新生病院

・施設形態：民間単科精神科病院

・院長名：河野 仁彦

・指導責任者氏名： 河野 仁彦

・指導医人数：（ 5 ）人

・精神科病床数：（ 390 ）床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	35	96
F1	7	7
F2	243	236
F3	390	61
F4 F50	28	0
F4 F7 F8 F9 F50	352	41
F6	8	3
その他	154	5

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当病院は 390 床を有する精神科病院である。療養病棟があり患者内訳としては F 2 統合失調症圏の患者数が多い特徴がある。統合失調症に対する薬物治療に力を入れており、治療抵抗性統合失調症に対する治療薬であるクロザピン治療を行える体制を構築しているため同治療を経験することが可能である。また、新たに児童思春期外来を開設し、日本児童青年精神医学会専門医も常勤しているため児童思春期疾患に対する診療経験が積めるよう体制を構築している。

⑬ 施設名：田中病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：田中 洋
- ・指導責任者氏名：柚留木 隆憲
- ・指導医人数：（ 3 ）人
- ・精神科病床数：（ 203 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	150	158
F1	130	27
F2	520	123
F3	210	42
F4 F50	160	17
F4 F7 F8 F9 F50	410	15
F6	6	4
その他		3

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当該施設は、精神 203 床、療養 50 床の精神科単科病院である。精神科急性期治療病棟、認知症疾患治療病棟、精神科療養病棟があり、急性期から慢性期、認知症まで精神科全般の幅広い入院及び外来加療を行なっている。また、宿泊型自立訓練施設、共同生活援助（グループホーム）、相談支援事業所、精神科デイ・ナイト・ケア、訪問看護ステーション、高齢者グループホーム等、関連施設も充実

しており、質の高い医療を提供している。

⑭ 施設名：谷口病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：谷口 浩
- ・指導責任者氏名：谷口 浩
- ・指導医人数：（ 3 ）人
- ・精神科病床数：（ 310 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	406	246
F1	41	22
F2	379	201
F3	517	192
F4 F50	235	72
F4 F7 F8 F9 F50	10	0
F6	5	2
その他	230	138

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は、310床を有する精神科単科病院である。発達障害、気分障害、不安障害圏、統合失調症圏、認知症、アルコール・薬物障害圏など広範囲に及ぶ精神疾患患者を受け入れてきた実績がある。児童思春期症例対応や精神科救急事例対応などにも積極的に対応し、専門医、指定医を目指す若い精神科医を積極的に受け入れ、育成してきた。また、利用者の社会生活を支えるため、6つの自立型生活支援住居も運営している。さらに、利用者の地域移行を推進するため、訪問看護も精力的に遂行するなど、他職種連携による精神保健福祉への参画を積極的に進めている。

⑮ 施設名：医療法人恵心会永田病院

- ・施設形態： 民間単科精神科病院
- ・院長名： 有田 一信
- ・指導責任者氏名：有田 一信
- ・指導医人数：（ 2 ）人
- ・精神科病床数：（ 304 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	39	23
F1	7	7
F2	269	241
F3	322	44
F4 F50	199	10
F4 F7 F8 F9 F50	102	22
F6	6	0
その他	72	4

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当該施設は宮崎県内において最初期に設立された単科精神科病院であり、地域での認知度は高い。嘱託医として関わっている施設等は複数あり、また県境に立地しているため隣県の鹿児島県からの利用も多い。様々な症例を経験することが可能であり、より実践的な臨床精神科医としての研修を積むことが出来る。

⑯ 施設名：吉田病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：吉田 建世
- ・指導責任者氏名： 松藤 正彦
- ・指導医人数：（ 4 ）人
- ・精神科病床数：（ 307 ）床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数 (年間)	入院患者数 (年間)
F0	336	76
F1	50	30
F2	255	60
F3	260	24
F4 F50	329	12
F4 F7 F8 F9	96	2
50		
F6	4	1
その他	123	2

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当該施設は 307 床（精神科急性期治療病棟 42 床・精神科一般病棟 54 床・精神療養病棟 166 床・認知症治療病棟 45 床）の精神科病院です。外来部門として、精神科訪問看護・精神科デイ・ケア・重度認知症デイ・ケア、関連施設として、宿泊型自立訓練施設・グループホーム・延岡市地域活動支援センターを有し、急性期治療から回復期、社会復帰支援までトータルケアを提供しています。また、特に認知症治療に力を入れており、もの忘れ相談や MRI や SPECT を導入し、早期診断・早期治療を目指しております。

⑰ 施設名：若草病院

・施設形態：民間単科精神科病院

・院長名：白土 俊明

・指導責任者氏名：水野 謙太郎

・指導医人数：（ 2 ）人

・精神科病床数：（ 127 ）床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	71	32

F1	45	25
F2	719	267
F3	376	76
F4 F50	271	29
F4 F7 F8 F9 F50	111	27
F6	31	9
その他	186	52

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は単科精神科病院であり、精神科救急病棟 60 床、精神一般病棟 46 床を有する。統合失調症を中心に、気分障害、神経症、認知症、児童思春期等、多様な症例を受け入れている。

精神科救急病棟では措置入院や応急入院を年間 20 件以上受け入れているほか、年間 300 件程度の入退院実績があり、入院から退院調整に至るまでの精神科救急の実際を学ぶことができる。

治療抵抗性統合失調症の治療についての経験を積むことができる。指導医はクロザリル患者モニタリングサービス登録医を兼ねており、指導医の助言のもと、クロザピンの導入や副作用対策について経験できる。また、クロザピン忍容性不良や部分反応の統合失調症患者や薬物治療抵抗性のうつ病患者に対しては修正型電気けいれん療法を行っており、治療ガイドラインに沿った研修を受けることができる。

統合失調症や認知症等の通院患者の地域生活を支えるため、訪問看護・介護事業所や就労支援事業所、有料老人ホーム等を運営しており、多職種による医療・介護・福祉サービスの連携と、退院後の生活支援について知見を深めることができる。

⑱ 施設名：九州大学病院

・施設形態：大学病院

・院長名：赤司 浩一

・指導責任者氏名：中尾 智博

- ・指導医人数：（ 10 ） 人
- ・精神科病床数：（ 65 ） 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	165	11
F1	19	3
F2	321	83
F3	647	83
F4 F50	648	48
F4 F7 F8 F9 F50	1079	61
F6	4	1
その他		

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は 1275 床を有する大規模な病院であり、精神科も 65 床という大学病院としては最大規模の病棟を有している。高度専門医療機関として、主に難治性の症 例を中心に統合失調症（F2）、気分障害（F3）、神経症性障害（F4）などの治療にあたっている。また思春期症例、認知症、身体合併症治療、リエゾン・コンサルテーションなど精神科臨床を幅広く経験できることも特徴である。精神療法の習得にも力を注いでおり、認知行動療法、精神分析・精神力動、森田療法のカンファレンス、セミナーを定期的に行っている。

3. 研修プログラム

専攻医は精神科領域専門医制度の研修手帳にしたがって専門知識を習得する。研修期間中に以下の領域の知識を広く学ぶ必要がある。

- 1.患者及び家族との面接
- 2.疾患概念の病態の理解
- 3.診断と治療計画
- 4.補助検査法
- 5.薬物・身体療法

- 6.精神療法
- 7.心理社会的療法など
- 8.精神科救急
- 9.コンサルテーション・リエゾン精神医学
- 10.法と精神医学
- 11.災害精神医学
- 12.医の倫理
- 13.安全管理

なお、留学や妊娠・出産・育児や介護などで、研修を中断せざるを得ない場合は、中断した期間分のプログラムの履修が可能である。

1) 年次到達目標

1年目：基幹病院または連携病院で、指導医と一緒に統合失調症、気分障害、器質性精神障害の患者等を受け持ち、面接の仕方、診断と治療計画、薬物療法及び精神療法の基本を学び、コンサルテーション・リエゾン精神医学を経験する。とくに面接によって情報を抽出し、診断に結びつけるとともに、良好な治療関係を構築し維持することを学ぶ。症例カンファレンス、セミナーに参加し、学会や研究会等で発表する。

2年目：基幹病院または連携病院で、指導医の指導を受けつつ面接手技を学び、診断と治療計画の能力を充実させる。薬物療法の知識を深め、精神療法の基本的考え方を学ぶ。また、論文執筆（症例報告など）の指導を受ける。

3年目：指導医から自立して診療できるようにする。基幹病院または連携病院で、各種精神療法を上級者の指導の下に実践する。心理社会的療法、精神科リハビリテーション、地域精神医療等を学ぶ。学会での発表、論文の執筆を行う。

2) 研修カリキュラムについて

研修カリキュラムは、「専攻医研修マニュアル」（別紙）、「研修記録簿」（別紙）を参照。

3) 個別項目について

①倫理性・社会性

他科の医師やコメディカルスタッフとともに研修会が実施される。コンサルテーション・リエゾンを通して身体科との連携を持つことによって、医師としての責任や社会性、倫理観などについても多くの先輩や他の医療スタッフからも学ぶ機会を得ることができる。

②学問的姿勢

研修期間に経験した症例を院内の症例検討会で発表することを基本とし、その過程で過去の類似症例を文献的に調査するなどの姿勢を心がける。その中で特に興味ある症例については、地方会等での発表や学術誌などへ投稿する。

③コアコンピテンシーの習得

研修期間を通じて、1) 患者関係の構築、2) チーム医療の実践、3) 安全管理、4) 症例プレゼンテーション技術、5) 医療における社会的・組織的・倫理的側面の理解を到達目標とする。さらに精神科診断・面接、精神療法、薬物療法、コンサルテーション・リエゾン精神医学といった精神科医特有の技能の獲得を目指す。

④学術活動（学会発表、論文の執筆等）

臨床研究、基礎研究に従事しその成果を国内外の学会や研究会で発表し、論文として発表する。

⑤自己学習

臨床での経験や指導医に学んだことなどを自己で振り返り、書籍や論文などを読み、自主学習する。

4) ローテーションモデル

原則として1年目に基幹病院で研修し、精神科医としての基本的な知識を身につける。2～3年目には基幹病院または連携病院で研修し、身体合併症治療、難治・急性期症例、児童症例、認知症症例、触法患者等を幅広く経験し、精神療法、薬物療法を主体とする治療手技、身体的検査・心理検査などの検査手法、精神保健福祉法や社会資源についての知識と技術を深めていく。



5) 研修の週間・年間計画

週間計画、年間計画については下記を参照。

(1) 週間スケジュール

	午前	午後
月曜日	病棟業務 10:00 救急回診 10:30 病棟回診	病棟業務 13:30 病棟行事 16:00 入退院カンファレンス
火曜日	病棟業務/外来予診 10:00 救急回診	病棟業務 13:30 病棟行事 15:00 リエゾンカンファレンス
水曜日	病棟業務/外来予診 10:00 救急回診	病棟業務 13:30 集団精神療法 15:00 リエゾンカンファレンス
木曜日	病棟業務/外来予診 10:00 救急回診	病棟業務 13:30 SST 14:00 緩和ケアカンファレンス
金曜日	病棟業務/外来予診 10:00 救急回診	病棟業務 12:30 抄読会・研究発表会 15:00 病棟カンファレンス

(2) 年間スケジュール

4 月	新入局員オリエンテーション 指導医：指導実績報告書提出
5 月	
6 月	日本精神神経学会総会参加 日本老年精神医学会参加 宮崎県精神科医会参加・演題発表 研修プログラム管理委員会開催
7 月	
8 月	九州地区 11 大学合同研修会
9 月	
10 月	日本精神科救急学会学術総会参加
11 月	
12 月	日本児童青年精神医学会総会参加 宮崎県精神科医会参加・演題発表 九州精神神経学会参加・演題発表
1 月	
2 月	
3 月	専攻医：研修報告書提出および次年度研修計画作成 研修プログラム評価報告書作成

※いずれの施設においても、就業時間が 40 時間/週を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。原則として、40 時間/週を超えるスケジュールについては自由参加とする。

研修連携施設の週間計画、年間計画については別紙を参照。

4. プログラム管理体制について

- ・プログラム管理委員会

- 委員長 医師 平野 羊嗣
- 医師：武田 龍一郎
- 医師：船橋 英樹
- 医師：大平 洋明
- 看護師：安藤 真美
- 精神保健福祉士：濱村 まり
- 医師：中尾 智博
- 医師：石田 康
- 医師：河野 次郎
- 医師：直野 慶子
- 医師：橋口 浩志
- 医師：井上 雅文
- 医師：三山 吉夫
- 医師：二宮 嘉正
- 医師：児玉 英之
- 医師：川添 哲志
- 医師：倉山 茂樹
- 医師：内村 大介
- 医師：藤元 ますみ
- 医師：鮫島 哲郎
- 医師：河野 仁彦
- 医師：柚留木 隆憲
- 医師：谷口 浩
- 医師：有田 一信
- 医師：吉田 建生
- 医師：水野 謙太郎

- ・プログラム統括責任者

平野 羊嗣

- ・連携施設における委員会組織

各連携病院の指導責任者および実務担当の指導医によって構成される。

5. 評価について

1) 評価体制

宮崎大学医学部附属病院：平野 羊嗣

宮崎県立宮崎病院精神医療センター：河野 次郎

宮崎東病院児童精神科：橋口 浩志

井上病院：井上 雅文

大悟病院：三山 吉夫

協和病院：二宮 嘉正

高宮病院：児玉 英之

野崎病院：川添 哲志

宮崎若久病院：牧田 昌平

内村病院：内村 大介

県南病院：藤元 ますみ

鯨島病院：鯨島 哲郎

都城新生病院：河野 仁彦

田中病院：柚留木 隆憲

谷口病院：谷口 浩

永田病院：有田 一信

藤元病院：竹内 康三

吉田病院：吉田 建生

若草病院：水野 謙太郎

九州大学病院：中尾 智博

2) 評価時期と評価方法

- ・3 か月ごとに、カリキュラムに基づいたプログラムの進行状況を専攻医と指導医が確認し、その後の研修方法を定め、研修プログラム管理委員会に提出する。
- ・研修目標の達成度を、当該研修施設の指導責任者と専攻医がそれぞれ6 ヶ月ごとに評価し、フィードバックする。
- ・1 年後に1 年間のプログラムの進行状況並びに研修目標の達成度を指導責任者が確認し、次年度の研修計画を作成する。またその結果を統括責任者に提出する。
- ・その際の専攻医の研修実績および評価には研修記録簿／システムを用いる。
- ・宮崎県精神科医会総会当日にプログラム管理委員が会議を行い、適宜修正する。

3) 研修時に則るマニュアルについて

「研修記録簿」（別紙）に実績を記載し、指導医による形成的評価、フィードバックを受ける。総括的評価は精神科研修カリキュラムに則り、少なくとも年1 回行う。

宮崎大学医学部附属病院にて専攻医の研修履歴（研修施設、期間、担当した専門研修

指導医）研修実績、研修評価を保管する。さらに専攻医による専門施設および専門研修プログラムに対する評価も保管する。

プログラム運用マニュアルは以下の専攻医研修マニュアルと指導医マニュアルを用いる。

- 専攻医研修マニュアル（別紙）
- 指導医マニュアル（別紙）

・ 専攻医研修実績記録

「研修記録簿」に研修実績を記録し、一定の経験を積むごとに専攻医自身が形成的評価を行い記録する。少なくとも年に1回は形成的評価により、指定された研修項目を年次ごとの達成目標に従って、各分野の形成的自己評価を行うこと。研修を終了しようとする年度末には総括的評価により評価が行われる。

・ 指導医による指導とフィードバックの記録

専攻医自身が自分の達成度評価を行い、指導医も形成的評価を行い記録する。少なくとも年1回は指定された研修項目を年次ごとの達成目標に従って、各分野の形成的評価を行い、評価者は「劣る」、「やや劣る」の評価をつけた項目については必ず改善のためのフィードバックを行い記録し、翌年度の研修に役立てる。

6. 全体の管理運営体制

1) 専攻医の就業環境の整備（労務管理）

各施設の労務管理基準に準拠する。

2) 専攻医の心身の健康管理

各施設の健康管理基準に準拠する。

3) プログラムの改善・改良

基幹病院の統括責任者と連携施設の指導責任者による委員会にて定期的にプログラム内容について討議し、継続的な改良を実施する。

4) F D の計画・実施

年1回、プログラム管理委員会が主導し各施設における研修状況を評価する。

(別紙)

研修基幹施設・連携施設の週間計画、年間計画

週間計画 宮崎大学医学部附属病院精神科領域 専門研修プログラム

	月	火	水	木	金
午前	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務
午後	回診 入退院症例検討会 行動制限最小化委員会 (月1回)	病棟行事 リエゾン ミニレクチャー	病棟カンファ 集団精神療法	SST 緩和ケア	クリニカル リサーチセミナー 研究発表会
夕方以降					

年間計画

月	内容	月	内容
4月	専攻医：オリエンテーション	11月	九州精神神経学会 日本生物学的精神医学会 日本総合病院精神医学会 日本児童青年精神医学会
5月		12月	宮崎県精神科医師会
6月	日本精神神経学会 宮崎県精神科医会 研修プログラム管理委員会	1月	
7月	日本緩和医療学会	2月	
8月	九州地区11大学合同研修会	3月	専攻医：研修報告書提出&次年度研修計画作成 指導医：研修プログラム評価報告書作成
9月	日本老年精神神経学会		
10月	日本サイコロジ学会 日本精神科救急学会		

いずれの施設においても、就業時間が週40時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

週間計画 研修連携施設 県立宮崎病院精神医療センター

	月	火	水	木	金
午前	多職種会議 病棟申し送り・回診 外来・病棟診察 デイケア診察	多職種会議 病棟申し送り・回診 外来・病棟診察 デイケア診察	多職種会議 病棟申し送り・回診 外来・病棟診察 デイケア診察	多職種会議 病棟申し送り・回診 外来・病棟診察 デイケア診察	多職種会議 病棟申し送り・回診 外来・病棟診察 デイケア診察
午後	病棟症例カンファ 病棟診察・作業療法 症例検討会 医局会	病棟症例カンファ 病棟診察・作業療法 行動制限最小化委員 会(月1回) 症例指導	病棟症例カンファ 認知症ケア回診 症例指導	病棟症例カンファ 緩和ケア回診・会議 DPAT会議(月1回) 症例指導	宮崎大学セミナー スーパービジョン 症例指導
夕方以降	院内レクチャー(全科)				

年間計画

月	内容	月	内容
4月	専攻医：オリエンテーション	10月	日本精神病理学会 全国自治体病院学会
5月		11月	九州精神神経学会(できれば発表) 日本生物学的精神医学会 日本総合病院精神医学会 日本児童青年精神医学会 日本精神分析学会
6月	日本精神神経学会 宮崎県精神科医会	12月	宮崎県精神科医師会(できれば発表)
7月		1月	宮崎県災害派遣精神医療チーム構成員研修会
8月	九州地区11大学合同研修会	2月	
9月	日本老年精神神経学会 日本司法精神医学会	3月	日本社会精神医学会
10月	日本精神科救急学会 日本摂食障害学会		

いずれの施設においても、就業時間が週40時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

週間計画 研修連携施設 宮崎東病院児童精神科

	月	火	水	木	金
午前	外来予診 外来陪席 病棟業務 回診	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	研修日
午後	入退院症例 検討会 行動制限最 小化委員会 (月1回)	作業療法	病棟カンファ	作業療法	研修日 抄読会 研究発表会
夕方以降					

年間計画

月	内容	月	内容
4月	専攻医：オリエンテーション	11月	九州精神神経学会 日本生物学的精神医学会 日本総合病院精神医学会 日本児童青年精神医学会
5月		12月	宮崎県精神科医師会
6月	日本精神神経学会 宮崎県精神科医会 研修プログラム管理委員会	1月	
7月	日本緩和医療学会	2月	
8月	九州地区11大学合同研修会	3月	専攻医：研修報告書提出 & 次年度研修計画作成 指導医：研修プログラム評価報告書作成
9月	日本老年精神神経学会		
10月	日本サイコオンコロジー学会 日本精神科救急学会		

いずれの施設においても、就業時間が週40時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

週間計画 研修連携施設 井上病院

	月	火	水	木	金
午前	外来予診 外来陪席 病棟業務 回診	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	研修日
午後	入退院症例 検討会 行動制限最 小化委員会 (月1回)	作業療法	病棟カンファ 集団精神療法	作業療法 SST	研修日 抄読会 研究発表会
夕方以降					

年間計画

月	内容	月	内容
4月	専攻医：オリエンテーション	11月	九州精神神経学会 日本生物学的精神医学会 日本総合病院精神医学会 日本児童青年精神医学会
5月		12月	宮崎県精神科医師会
6月	日本精神神経学会 宮崎県精神科医会 研修プログラム管理委員会	1月	
7月	日本緩和医療学会	2月	
8月	九州地区11大学合同研修会	3月	専攻医：研修報告書提出 & 次年度研修計画作成 指導医：研修プログラム評価報告書作成
9月	日本老年精神神経学会		
10月	日本サイコオンコロジー学会 日本精神科救急学会		

いずれの施設においても、就業時間が週40時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

週間計画

研修連携施設 協和病院

	月	火	水	木	金
午前	外来予診 外来陪席 病棟業務 回診	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	研修日
午後	入退院症例 検討会 行動制限最 小化委員会 (月1回)	作業療法 認知症疾患 センター	病棟カンファ 集団精神療法	作業療法 認知症疾患 センター SST	研修日 抄読会 研究発表会
夕方以降					

年間計画

月	内容
4月	専攻医：オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会 宮崎県精神科医会 研修プログラム管理委員会
7月	日本緩和医療学会
8月	九州地区11大学合同研修会
9月	日本老年精神神経学会
10月	日本サイコオンコロジー学会 日本精神科救急学会

月	内容
11月	九州精神神経学会 日本生物学的精神医学会 日本総合病院精神医学会 日本児童青年精神医学会
12月	宮崎県精神科医師会
1月	
2月	
3月	専攻医：研修報告書提出&次年度研修計画作成 指導医：研修プログラム評価報告書作成

いずれの施設においても、就業時間が週40時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

週間計画

研修連携施設 高宮病院

	月	火	水	木	金
午前	外来予診 外来陪席 病棟業務 回診	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	研修日
午後	入退院症例 検討会 行動制限最 小化委員会 (月1回)	作業療法	病棟カンファ 集団精神療法	作業療法 SST	研修日 抄読会 研究発表会
夕方以降					

年間計画

月	内容
4月	専攻医：オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会 宮崎県精神科医会 研修プログラム管理委員会
7月	日本緩和医療学会
8月	九州地区11大学合同研修会
9月	日本老年精神神経学会
10月	日本サイコオンコロジー学会 日本精神科救急学会

月	内容
11月	九州精神神経学会 日本生物学的精神医学会 日本総合病院精神医学会 日本児童青年精神医学会
12月	宮崎県精神科医師会
1月	
2月	
3月	専攻医：研修報告書提出&次年度研修計画作成 指導医：研修プログラム評価報告書作成

いずれの施設においても、就業時間が週40時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

週間計画 研修連携施設 大悟病院

	月	火	水	木	金
午前	外来予診 外来陪席 病棟業務 回診	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	研修日
午後	入退院症例 検討会 行動制限最 小化委員会 (月1回)	作業療法 認知症疾患 センター	病棟カンファ 集団精神療法 依存症病棟	作業療法 認知症疾患 センター SST	研修日 抄読会 研究発表会
夕方以降					

年間計画

月	内容	月	内容
4月	専攻医：オリエンテーション	11月	九州精神神経学会 日本生物学的精神医学会 日本総合病院精神医学会 日本児童青年精神医学会
5月		12月	宮崎県精神科医師会
6月	日本精神神経学会 宮崎県精神科医会 研修プログラム管理委員会	1月	
7月	日本緩和医療学会	2月	
8月	九州地区11大学合同研修会	3月	専攻医：研修報告書提出 & 次年度研修計画作成 指導医：研修プログラム評価報告書作成
9月	日本老年精神神経学会		
10月	日本サイコオンコロジー学会 日本精神科救急学会		

いずれの施設においても、就業時間が週40時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

週間計画 研修連携施設 野崎病院

	月	火	水	木	金
午前	外来予診 外来陪席 病棟業務 回診	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	研修日
午後	入退院症例 検討会 行動制限最 小化委員会 (月1回)	作業療法 認知症疾患 センター	病棟カンファ 集団精神療法	作業療法 SST 認知症疾患 センター	研修日 抄読会 研究発表会
夕方以降					

年間計画

月	内容	月	内容
4月	専攻医：オリエンテーション	11月	九州精神神経学会 日本生物学的精神医学会 日本総合病院精神医学会 日本児童青年精神医学会
5月		12月	宮崎県精神科医師会
6月	日本精神神経学会 宮崎県精神科医会 研修プログラム管理委員会	1月	
7月	日本緩和医療学会	2月	
8月	九州地区11大学合同研修会	3月	専攻医：研修報告書提出 & 次年度研修計画作成 指導医：研修プログラム評価報告書作成
9月	日本老年精神神経学会		
10月	日本サイコオンコロジー学会 日本精神科救急学会		

いずれの施設においても、就業時間が週40時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

週間計画 研修連携施設 宮崎若久病院

	月	火	水	木	金
午前	外来予診 外来陪席 病棟業務 回診	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	研修日
午後	入退院症例 検討会 行動制限最 小化委員会 (月1回)	作業療法 依存症病棟	病棟カンファ 集団精神療法	作業療法 SST 依存症病棟	研修日 抄読会 研究発表会
夕方以降					

年間計画

月	内容
4月	専攻医：オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会 宮崎県精神科医会 研修プログラム管理委員会
7月	日本緩和医療学会
8月	九州地区11大学合同研修会
9月	日本老年精神神経学会
10月	日本サイコソクロロジー学会 日本精神科救急学会

月	内容
11月	九州精神神経学会 日本生物学的精神医学会 日本総合病院精神医学会 日本児童青年精神医学会
12月	宮崎県精神科医師会
1月	
2月	
3月	専攻医：研修報告書提出 & 次年度研修計画作成 指導医：研修プログラム評価報告書作成

いずれの施設においても、就業時間が週40時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

週間計画 研修連携施設 内村病院

	月	火	水	木	金
午前	外来予診 外来陪席 病棟業務 回診	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	研修日
午後	入退院症例 検討会 行動制限最 小化委員会 (月1回)	作業療法	病棟カンファ 集団精神療法	作業療法 SST	研修日 抄読会 研究発表会
夕方以降					

年間計画

月	内容
4月	専攻医：オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会 宮崎県精神科医会 研修プログラム管理委員会
7月	日本緩和医療学会
8月	九州地区11大学合同研修会
9月	日本老年精神神経学会
10月	日本サイコソクロロジー学会 日本精神科救急学会

月	内容
11月	九州精神神経学会 日本生物学的精神医学会 日本総合病院精神医学会 日本児童青年精神医学会
12月	宮崎県精神科医師会
1月	
2月	
3月	専攻医：研修報告書提出 & 次年度研修計画作成 指導医：研修プログラム評価報告書作成

いずれの施設においても、就業時間が週40時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

週間計画 研修連携施設 けんなん病院

	月	火	水	木	金
午前	外来予診 外来陪席 病棟業務 回診	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	研修日
午後	入退院症例 検討会 行動制限最 小化委員会 (月1回)	作業療法 認知症疾患 センター	病棟カンファ 集団精神療法	作業療法 SST 認知症疾患 センター	研修日 抄読会 研究発表会
夕方以降					

年間計画

月	内容	月	内容
4月	専攻医：オリエンテーション	11月	九州精神神経学会 日本生物学的精神医学会 日本総合病院精神医学会 日本児童青年精神医学会
5月		12月	宮崎県精神科医師会
6月	日本精神神経学会 宮崎県精神科医会 研修プログラム管理委員会	1月	
7月	日本緩和医療学会	2月	
8月	九州地区11大学合同研修会	3月	専攻医：研修報告書提出 & 次年度研修計画作成 指導医：研修プログラム評価報告書作成
9月	日本老年精神神経学会		
10月	日本サイコオンコロジー学会 日本精神科救急学会		

いずれの施設においても、就業時間が週40時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

週間計画 研修連携施設 鯨島病院

	月	火	水	木	金
午前	外来予診 外来陪席 病棟業務 回診	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	研修日
午後	入退院症例 検討会 行動制限最 小化委員会 (月1回)	作業療法	病棟カンファ 集団精神療法	作業療法 SST	研修日 抄読会 研究発表会
夕方以降					

年間計画

月	内容	月	内容
4月	専攻医：オリエンテーション	11月	九州精神神経学会 日本生物学的精神医学会 日本総合病院精神医学会 日本児童青年精神医学会
5月		12月	宮崎県精神科医師会
6月	日本精神神経学会 宮崎県精神科医会 研修プログラム管理委員会	1月	
7月	日本緩和医療学会	2月	
8月	九州地区11大学合同研修会	3月	専攻医：研修報告書提出 & 次年度研修計画作成 指導医：研修プログラム評価報告書作成
9月	日本老年精神神経学会		
10月	日本サイコオンコロジー学会 日本精神科救急学会		

いずれの施設においても、就業時間が週40時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

週間計画

研修連携施設 都城新生病院

	月	火	水	木	金
午前	外来予診 外来陪席 病棟業務 回診	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	研修日
午後	入退院症例 検討会 行動制限最 小化委員会 (月1回)	作業療法 児童思春期	病棟カンファ 集団精神療法	作業療法 SST 児童思春期	研修日 抄読会 研究発表会
夕方以降					

年間計画

月	内容
4月	専攻医：オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会 宮崎県精神科医会 研修プログラム管理委員会
7月	日本緩和医療学会
8月	九州地区11大学合同研修会
9月	日本老年精神神経学会
10月	日本サイコオンコロジー学会 日本精神科救急学会

月	内容
11月	九州精神神経学会 日本生物学的精神医学会 日本総合病院精神医学会 日本児童青年精神医学会
12月	宮崎県精神科医師会
1月	
2月	
3月	専攻医：研修報告書提出&次年度研修計画作成 指導医：研修プログラム評価報告書作成

いずれの施設においても、就業時間が週40時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

週間計画

研修連携施設 田中病院

	月	火	水	木	金
午前	外来予診 外来陪席 病棟業務 回診	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	研修日
午後	入退院症例 検討会 行動制限最 小化委員会 (月1回)	作業療法	病棟カンファ 集団精神療法	作業療法 SST	研修日 抄読会 研究発表会
夕方以降					

年間計画

月	内容
4月	専攻医：オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会 宮崎県精神科医会 研修プログラム管理委員会
7月	日本緩和医療学会
8月	九州地区11大学合同研修会
9月	日本老年精神神経学会
10月	日本サイコオンコロジー学会 日本精神科救急学会

月	内容
11月	九州精神神経学会 日本生物学的精神医学会 日本総合病院精神医学会 日本児童青年精神医学会
12月	宮崎県精神科医師会
1月	
2月	
3月	専攻医：研修報告書提出&次年度研修計画作成 指導医：研修プログラム評価報告書作成

いずれの施設においても、就業時間が週40時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

週間計画 研修連携施設 谷口病院

	月	火	水	木	金
午前	外来予診 外来陪席 病棟業務 回診	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	研修日
午後	入退院症例 検討会 行動制限最 小化委員会 (月1回)	作業療法 依存症病棟	病棟カンファ 集団精神療法	作業療法 SST 依存症病棟	研修日 抄読会 研究発表会
夕方以降					

年間計画

月	内容	月	内容
4月	専攻医：オリエンテーション	11月	九州精神神経学会 日本生物学的精神医学会 日本総合病院精神医学会 日本児童青年精神医学会
5月		12月	宮崎県精神科医師会
6月	日本精神神経学会 宮崎県精神科医会 研修プログラム管理委員会	1月	
7月	日本緩和医療学会	2月	
8月	九州地区11大学合同研修会	3月	専攻医：研修報告書提出&次年度研修計画作成 指導医：研修プログラム評価報告書作成
9月	日本老年精神神経学会		
10月	日本サイコオンコロジー学会 日本精神科救急学会		

いずれの施設においても、就業時間が週40時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

週間計画 研修連携施設 永田病院

	月	火	水	木	金
午前	外来予診 外来陪席 病棟業務 回診	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	研修日
午後	入退院症例 検討会 行動制限最 小化委員会 (月1回)	作業療法	病棟カンファ 集団精神療法	作業療法 SST	研修日 抄読会 研究発表会
夕方以降					

年間計画

月	内容	月	内容
4月	専攻医：オリエンテーション	11月	九州精神神経学会 日本生物学的精神医学会 日本総合病院精神医学会 日本児童青年精神医学会
5月		12月	宮崎県精神科医師会
6月	日本精神神経学会 宮崎県精神科医会 研修プログラム管理委員会	1月	
7月	日本緩和医療学会	2月	
8月	九州地区11大学合同研修会	3月	専攻医：研修報告書提出&次年度研修計画作成 指導医：研修プログラム評価報告書作成
9月	日本老年精神神経学会		
10月	日本サイコオンコロジー学会 日本精神科救急学会		

いずれの施設においても、就業時間が週40時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

週間計画 研修連携施設 吉田病院

	月	火	水	木	金
午前	外来予診 外来陪席 病棟業務 回診	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	研修日
午後	入退院症例 検討会 行動制限最 小化委員会 (月1回)	作業療法 リワーク 認知症疾患 センター 依存症病棟	病棟カンファ 集団精神療法	作業療法 SST リワーク 認知症疾患 センター	研修日 抄読会 研究発表会
夕方以降					

年間計画

月	内容	月	内容
4月	専攻医：オリエンテーション	11月	九州精神神経学会 日本生物学的精神医学会 日本総合病院精神医学会 日本児童青年精神医学会
5月		12月	宮崎県精神科医師会
6月	日本精神神経学会 宮崎県精神科医会 研修プログラム管理委員会	1月	
7月	日本緩和医療学会	2月	
8月	九州地区11大学合同研修会	3月	専攻医：研修報告書提出 & 次年度研修計画作成 指導医：研修プログラム評価報告書作成
9月	日本老年精神神経学会		
10月	日本サイコオンコロジー学会 日本精神科救急学会		

いずれの施設においても、就業時間が週40時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

週間計画 研修連携施設 若草病院

	月	火	水	木	金
午前	外来予診 外来陪席 病棟業務 回診	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	外来予診 外来陪席 病棟業務	研修日
午後	入退院症例 検討会 行動制限最 小化委員会 (月1回)	作業療法 ECT	病棟カンファ 集団精神療法	作業療法 SST ECT	研修日 抄読会 研究発表会
夕方以降					

年間計画

月	内容	月	内容
4月	専攻医：オリエンテーション	11月	九州精神神経学会 日本生物学的精神医学会 日本総合病院精神医学会 日本児童青年精神医学会
5月		12月	宮崎県精神科医師会
6月	日本精神神経学会 宮崎県精神科医会 研修プログラム管理委員会	1月	
7月	日本緩和医療学会	2月	
8月	九州地区11大学合同研修会	3月	専攻医：研修報告書提出 & 次年度研修計画作成 指導医：研修プログラム評価報告書作成
9月	日本老年精神神経学会		
10月	日本サイコオンコロジー学会 日本精神科救急学会		

いずれの施設においても、就業時間が週40時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

週間計画 研修連携施設 九州大学附属病院精神科神経科

	月	火	水	木	金
午前	病棟業務	病棟カンファ 抄読会 リエゾン	病棟業務	外来予診 リエゾン	病棟業務
午後	病棟業務 病棟医長回診 チームカンファ	病棟業務	病棟業務 論文輪読会	教授回診 医局会 抄読会	病棟業務
16時 以降	行動療法カンファ		精神分析セミナー	精神医学セミナー	

年間計画

月	内容	月	内容
4月	専攻医：オリエンテーション 研修医グラウンドラウンド（毎月）	10月	研修中間報告書提出 教室研究会
5月	教室研究会 福岡精神科集談会	11月	九州精神神経学会 日本児童青年精神医学会（任意） 日本認知症学会（任意） 日本生物学的精神医学会
6月	日本精神神経学会 日本老年医学会（任意） 研修プログラム管理委員会開催	12月	
7月	日本うつ病学会（任意）	1月	福岡精神科集談会
8月	九州地区11大学合同研修会 日本認知・行動療法学会（任意）	2月	日本不安症学会（任意）
9月	福岡精神科集談会	3月	研修報告書、研修プログラム評価報告書の作成 日本統合失調症学会（任意）

※その他、医師会が開催する「医療倫理」「感染対策」「医療安全」の各研修に参加する
いずれの施設においても、就業時間が週40時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

改訂：2025/3/31